

計画策定に向けて 若い世代の皆さんも活躍しています

市のこれからのまちづくりの方向性を描く、第6次長期総合計画の策定が進んでいます。

計画は、市長の諮問に応じて、有識者や市民の代表で構成される塩竈市長期総合計画審議会で審議されています。その審議会には、次世代枠として20～30代の若い世代の代表6人が参加しています。今回は「次世代枠分科会」の取り組みをお知らせします。

次世代枠分科会とは

総合計画の策定にあたり、目指す都市像やその実現に向けた重点プロジェクト、計画書のデザインなどに、次世代枠委員の考え方や感性を生かすことを目的に設置しています。

特に、人口減少対策の方向性として掲げている「子育て世帯の移住・定住促進」策など、若い世代に魅力を感じてもらうための施策について、次世代枠委員の視点で集中的に検討を図ることで、「子育て世帯に選ばれるまち」を目指そうとするものです。

次世代枠分科会は「アイデアの宝庫」

審議会の有識者委員である大学の先生をかじ取り役として、これまでに3回の分科会を開催しました。

第1回(5月31日)

分科会の役割や取り組み内容を話し合いました。塩竈に住む若い世代が、「これからも塩竈で暮らし続けたい」「市外で暮らす若い世代が、塩竈に関心を持ち移住したい」ように、若い世代向けのパンフレット作成に取り組むことにしました。

第2回(6月22日)

デザイナーと若い世代向けパンフレットの具体的なターゲットや基本コンセプトについて話し合いました。

第3回(7月15日)

デザインの方向性を検討したほか、総合計画の都市像案や重点プロジェクトの策定に向けて、「まちづくりの好循環モデル」について話し合いました。



第3回分科会では、若い世代向けパンフレットの、デザインの方向性などについて、意見を出し合いました。

「子育て世帯に選ばれるまち」を目指して、次々と斬新でわくわくするようなアイデアが出されています。誰かのアイデアに触発され、そこからまた新たなアイデアが湧く。まるで「アイデアの宝庫」のようです。この分科会は10月まで継続して開催していきます。

「第6次長期総合計画」のパブリックコメントを募集しています

計画の策定過程における公正性および透明性の確保を図るとともに、市民の皆さんへの説明責任を果たし、市民の市政参画を促進することを目的に、パブリックコメントを募集しています。

原案の閲覧方法：審議会での意見を反映した計画原案は、市役所（本庁舎）、図書館、エスパ、体育館などの指定の場所のほか、ホームページで閲覧できます。

意見の提出方法：電子メール・ファクス・郵送・持参のいずれかの方法で提出ください。
募集期間など詳しくはQRコードから市ホームページをご覧ください。



問 政策課総合計画策定室 ☎022-355-5284